

結城中の生徒が看護師体験

結城中学校2年の平井杏璃紗さんと佐久間朱里さん、米田優希さん、島崎千帆さんの4人が7月24、25の2日間、城西病院で職場体験をし、看護師の仕事の一端を体験しました。

初日の午前中は、病院内の見学。救急処置室や手術室、放射線検査室、健診センターなどの部署を訪問し、専門スタッフなどから詳しい仕事の説明を聴きました。引き続き、療養病棟で看護師体験。聴診器を使ってお互いの血圧を測ったり、車いすを体験したりしました。4人は車いすは初体験。最初は動かすのに戸惑っていましたが、徐々に慣れて、坂道を登ったり、狭い道をUターンしたり、自由に動かしていました。また、段差や坂で車いすを動かす時に、相手の気持ちになって押す大切さなども学びました。

2日目は回復期リハビリ病棟で体験しました。リハビリの現場を見たり、医師の回診に立ち会ったり、患者さんといろんなことを話し、看護師の仕事の一端を体験しました。

将来、看護師を目指す平井さん、佐久間さんは、「思ったより大変な仕事」、「人の役に立てる仕事をしたい。今回体験して、もっと看護師になりたいと思った」と話し、介護の道を目指す米田さんは「高齢者の施設にいろんな職種の人がいてびっくりした。将来、お年寄りをお世話する仕事をしたい」と話していました。

平成 29 年 7 月 25 日



MRIに見入る生徒たち



手術室を見学



医師の回診も見学



救急処置室を見学



患者さんと話す生徒たち